

大学番号：国043

注3

[平成27年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

静岡大学大学院 総合科学技術研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 静岡大学

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 企画課長 ナカ ムラ ヒデ タカ
中 村 英 孝

電話番号 054-238-4574

（夜間） 054-238-4574

F A X 054-238-0089

e-mail secchi@adb.shizuoka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

大学院総合科学技術研究科

<情報学専攻>		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22
<理学専攻>		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	25
2. 授業科目の概要	29
3. 施設・設備の整備状況、経費	37
4. 既設大学等の状況	38
5. 教員組織の状況	43
6. 留意事項等に対する履行状況等	47
7. その他全般的事項	48
<工学専攻>		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	51
2. 授業科目の概要	55
3. 施設・設備の整備状況、経費	64
4. 既設大学等の状況	65
5. 教員組織の状況	70
6. 留意事項等に対する履行状況等	74
7. その他全般的事項	75

<農学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	77
2. 授業科目の概要	81
3. 施設・設備の整備状況、経費	89
4. 既設大学等の状況	90
5. 教員組織の状況	95
6. 留意事項等に対する履行状況等	99
7. その他全般的事項	100

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 静岡大学

(2) 大学名

静岡大学

(3) 大学の位置

〒432-8561

静岡県浜松市中区城北3丁目5番1号

(大学院総合科学技術研究科情報学専攻及び工学専攻)

〒422-8529

静岡県静岡市駿河区大谷836番地

(大学院総合科学技術研究科理学専攻及び農学専攻)

[〒422-8529
静岡県静岡市駿河区大谷836番地]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合科学技術研究科 情報学専攻(修士課程) 修士(情報学)	2 年	60 人	120 人	基礎となる学部等 情報学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成27年度	平成28年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [-]	60 (-) [-]	60 (-) [-]	60 (-) [-]	1.00倍	
志願者数	64 (-) [2]	12 (-) [11]	63 (1) [4]	() []		
受験者数	64 (-) [2]	9 (-) [8]	61 (1) [4]	() []		
合格者数	57 (-) [2]	7 (-) [6]	60 (1) [4]	() []		
B 入学者数	56 (-) [2]	7 (-) [6]	57 (1) [4]	() []		
入学定員超過率 B/A	1.05		0.95			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] (-) 56	[-] (-) —	[4] (-) 57	[6] (-) 7			
2年次	/		[2] (-) 56	[-] (-) —			
計	[2] (-) 56		[10] (-) 120				

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	63 人	0 人	平成27年度	人	人		0.0 %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	57 人	0 人	平成28年度	人	人		0.0 %
合 計	120 人	0 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合科学技術研究科 情報学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	MOTベンチャー戦略論Ⅰ	1・2前		2								兼3 オムニバス
	MOTベンチャー戦略論Ⅱ	1・2後		2								兼2 オムニバス
	現代経営論	1・2後		2								兼2 共同
	知的財産論	1・2後		2								兼1
	希少資源戦略論	1・2前		2								兼2 担当教員の見直しのため(27) 兼3 オムニバス, 共同(一部)
	先端機器分析科学Ⅰ	1・2前		2								兼14 オムニバス
	先端機器分析科学Ⅱ	1・2後		2								兼15 オムニバス
	フロンティア科学特論Ⅰ	1・2前		1								兼6 オムニバス, 集中
	フロンティア科学特論Ⅱ	1・2後		1								兼6 オムニバス, 集中
	科学技術者倫理	1前		2			1	1				兼9 オムニバス
	現代科学の最前線Ⅰ	1・2前		1								兼6 オムニバス
	現代科学の最前線Ⅱ	1・2後		1								兼6 オムニバス
	科学コミュニケーション演習Ⅰ	1・2前		1								兼7 オムニバス, 集中
	科学コミュニケーション演習Ⅱ	1・2後		1								兼7 オムニバス, 集中
	環境科学特論	1後		2								兼1 英語対応科目
	科学技術政策特論	1・2前		2								兼1
	マーケティング論	1・2前		2								兼3 担当教員の見直しのため(27) 兼1
	情報システム論	1・2前		2								兼1
	情報セキュリティマネジメント論	1・2後		2								兼1
	応用数学概論	1・2前		2								兼1
	応用数学特論	1・2前		2								兼1
	量子工学特論	1・2前		2								兼1
	工学基礎化学特論Ⅰ	1・2前		2								兼1
	工学基礎化学特論Ⅱ	1・2後		2								兼1
	応用生命科学概論	1・2前		2								兼1
	応用プログラミング	1・2前		2		1						授業の実施体制の見直しのため(28) 兼1 授業理解及び演習補助のため兼担当教員を追加(27) 集中
	システム・ネットワーク論	1・2前		2		3 2	1 2					担当教員教授昇任のため(28) オムニバス
	コミュニケーション論	1・2後		2		4 3	1 3					担当教員教授昇任及び授業の実施体制の見直しのため(28) オムニバス, 英語対応科目
研究科	情報資源総論	1・2前 1・2後		2		3	1					教育体制を充実させるため担当専任教員を追加するため(28) 科目間調整のため開講期変更(27) オムニバス, 英語対応科目

共通科目	情報社会セキュリティ論	1・2後	2	2	1				オムバス
	先端フィールド科学特別演習	1・2前	1						兼4 共同, 集中
	統合オミックス特論 I	1・2前	2						兼2 非常勤講師の所属先の都合により担当が難しくなったため人数変更(27) 兼4 オムバス
	統合オミックス特論 II	1・2後	2						兼3 オムバス
	分子構造解析特論	1・2前	2						兼5 オムバス, 集中
	分子構造解析演習	1・2前	1						兼6 オムバス, 集中
	ゲノム機能解析演習	1・2後	1						兼3 オムバス, 集中
	災害情報学特論	1・2前	2						兼1
	津波工学特論	1・2後	2						兼1
	リスクマネジメント概論	1・2後	2						兼1 集中
	地震災害論	1・2前	1						兼1 集中
	火山災害論	1・2後	1						兼1 集中
	環境解析学	2後	1						兼2 集中
	環境生態系学	1前	2						兼1 集中
	生物地球化学	2前	2						兼2 集中
	環境倫理学	2後	1						兼1 集中
	環境システム工学	1後	1						兼3 集中
	生物多様性保全学	1後	1						兼1 授業の実施体制の見直しのため(27) 兼2 集中
	Science and Technology in Japan	1・2前	2						兼1
	Shizuoka Enterprises in South and Southeast Asia	1・2後	2						兼1
	Professional Presentations in English	1・2前	1		2		1		共同
	English Thesis Writing	1・2前・後	1		3 2		1		授業の実施体制の見直しのため(28) 共同
	大学院キャリアデザイン	1・2前	1						兼1
	大学院インターンシップ	1・2前・後	1		1				集中
	海外大学交流研修	1・2前・後	2						兼3 集中
	創造科学技術入門セミナー I	1・2前	1						兼7 オムバス
	創造科学技術入門セミナー II	1・2前	1						兼7 オムバス
	博士キャリアデザイン	1・2後	1						兼5 集中
	創造科学技術インターンシップ演習	2前・後	1						兼1
	創造科学技術先端機器分析演習 I	2後	1						兼1
創造科学技術先端機器分析演習 II	2後	1						兼1	
コース	情報学演習 I	1通	2			33 34 29	21 19 13	5 4	教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(28) 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(27) 英語対応科目
	情報学演習 II	2通	2			33 34 29	21 19 13	5 4	教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(28) 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(27) 英語対応科目

必修科目	情報学研究Ⅰ	1通	4		32 30 28	21 19 13	5 4			教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(28) 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(27) 英語対応科目
	情報学研究Ⅱ	2通	4		32 30 28	21 19 13	5 4			教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(28) 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(27) 英語対応科目
計算機科学系科目	ソフトウェア工学	1・2前	2		2					オムニバス
	ソフトウェア工学応用演習	1・2後	2		1		1			兼1 専任教員退職及びそれに伴う兼任教員追加(27) 共同
	ソフトウェア設計技術	1・2前	2				1 1			兼1 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため通常開講(28) 専任教員退職及びそれに伴う兼任教員採用の遅れのため集中化(27) 英語対応科目、集中
	アーキテクチャ設計論	1・2後	2		1					
	データ工学	1・2後	2			2 1	1 2			担当教員准教授昇任のため(28) 担当教員准教授昇任のため(27) オムニバス
	ネットワークシステム論	1・2前	2		1	2 1	1	1		専任教員退職に伴う担当教員の見直しのため(28) 担当教員講師昇任のため(27) オムニバス、英語対応科目
	情報セキュリティ論	1・2前	2		1					
	知的インターフェース論	1・2後	2		2					オムニバス
	離散情報処理論	1・2前	2		1	1				担当教員教授昇任のため(28)
	計算過程論	1・2後	2			2 1				教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため(28) 英語対応科目
	音声情報処理論	1・2後	2		1	2 1	1			教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため(28) オムニバス
	画像情報処理論	1・2後	2		4					オムニバス、英語対応科目
	プログラミング言語論	1・2後	2			1	1			担当教員の見直しのため(28)
計算言語学	1・2前	2				2 1	1		担当教員講師昇任のため(28) オムニバス	
情報システム系科目	認知科学論	1・2前	2		2 1	1				教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため(28) オムニバス、英語対応科目
	企業情報システム論	1・2後	2		1					
	情報組織化論	1・2前	2		1					兼1 集中
	デジタルコンテンツ特論	1・2前	2		2 1	1				担当教員教授昇任のため(27) オムニバス
	エージェント・シミュレーション論	1・2前 1・2後	2			2 1	1			教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため(28) 科目間調整のため開講期変更(27) 担当教員准教授昇任のため(27)
	教育情報システム論	1・2前	2		1					英語対応科目
	情報システム評価論	1・2前	2		1					英語対応科目
	情報システム設計論	1・2前	2		1					
	地理情報科学特論	1・2前	2		1					
	実践マネジメント特論	1・2前	2		1					兼2 教育体制を充実させるため兼任教員を追加したため(28) 集中
ジョブシミュレーション	1・2後	2		1					集中	

選択科目	情報社会デザイン系科目	IT技術倫理と社会	1・2後		2	2 +	2 +	+			担当教員教授昇任のため(28) 担当教員准教授昇任のため(27) オムバス
		情報政策特論	1・2後		2	1	2				教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため(28)
		コミュニティデザイン特論	1・2後		2	1	2	1			オムバス
		電子メディア特論	1・2後		2		2				オムバス、英語対応科目
		メディアスタディーズ特論	1・2前		2	1		+			担当専任教員退職及び授業の実施体制の見直しのため(28) オムバス、英語対応科目
		eコマース特論	1・2前		2		2 +				兼1 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため(28)
		グローバルコミュニケーション特論	1・2前		2	+	1	2 3			担当専任教員退職及び授業の実施体制の見直しのため(28) 担当教員准教授昇任のため(27) オムバス、英語対応科目
社会人教育系科目	社会人再教育のための情報学特別講義Ⅰ	1前・後 未開講 1前・後		2	32 30 28	21 19 13	5 4			教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(28) 通常開講(28) 履修希望者がいなかったため未開講(27) 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(27)	
	社会人再教育のための情報学特別講義Ⅱ	1前・後 未開講 1前・後		2	32 30 28	21 19 13	5 4			教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(28) 通常開講(28) 履修希望者がいなかったため未開講(27) 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(27)	
	社会人再教育のための情報学特別講義Ⅲ	未開講 2前・後		2	32 30 28	21 19 13	5 4			履修希望者がいなかったため未開講(28) 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(28) 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(27)	
	情報数学特論	1・2後		2	1	+				担当教員教授昇任のため(28) 集中	
	プログラミング特論	1・2後		2	1					集中	
	ネットワーク特論	1・2後		2		1				集中	
	プログラム外科目群	言語理論特論	1・2前		2	1					英語対応科目
ミュージアムコンテンツ論		未開講 1+2前		2	1					履修希望者がいなかったため未開講(28)	
情報拡散過程論		1・2後		2	1	1				教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため(28) 英語対応科目	
情報教育カリキュラム設計論		1・2後		2	1					集中	
情報科教育法特論		1・2前		2	1					集中	
Discussion and Report in English on General Systems Theory		1・2前 1+2後		2	1					科目間調整のため開講期変更(28)	
実用英語特論		1・2後		2	1 2					授業の実施体制の見直しのため(28) オムバス	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年度」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)

についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え
消し修正をしてください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	105	0	109	4	105	0	109	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を
記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学 術 雑 誌		視 聴 覚 資 料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電 子 ジ ャ ー ナ ル [うち外国書]				点
		[]	[]	[]	()	()	()	
		([])	([])	([])	()	()	()	
	計	[]	[]	[]	()	()	()	
		([])	([])	([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
		m ²						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千 円	千 円	図 書 購 入 費	千 円	千 円	千 円
	共 同 研 究 費 等	千 円	千 円	設 備 購 入 費	千 円	千 円	千 円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員 定 員	編入学 員 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は 称 号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部		450	3年次 5	1,870		1.01			平成24年度入学生より、人文学部から人文社会科学部へ学部名称変更
社会学科	4	70	—	295	学士 (社会学又は学術)	1.03	昭和57年度	静岡市駿河区大谷836	
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学又は学術)	1.05	平成4年度	〃	
法学科	4	90	3年次 2	364	学士 (法学又は学術)	1.05	昭和53年度	〃	
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次 3	126	学士 (法学)	0.94	平成8年度	〃	
経済学科	4	155	—	665	学士 (経済学又は学術)	1.02	昭和53年度	〃	
経済学科(夜間主コース)	4	30	—	120	学士 (経済学)	0.82	平成8年度	〃	
教育学部		300		1,500		1.01			
学校教育教員養成課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.01	平成10年度	静岡市駿河区大谷836	
生涯教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	
総合科学教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より 学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より 学生募集停止
情報学部		245		845		1.03			
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.06	平成8年度	浜松市中区城北3-5-1	
行動情報学科	4	70	—	70	〃	1.05	平成28年度	〃	

情報社会学科	4	75	—	375	学士 (情報学又は 学術)	1.01	平成 8年度	—	—
理学部		240		885		1.01			
数学科	4	38	—	143	学士 (理学)	1.04	昭和40年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学科	4	48	—	183	学士 (理学又は学 術)	1.01	—	—	
化学科	4	52	—	187	—	1.01	—	—	
生物科学科	4	52	—	187	—	1.01	平成18年度	—	
地球科学科	4	50	—	185	—	1.02	—	—	
工学部		550		2,155		1.03			
機械工学科	4	168	—	663	学士 (工学又は学 術)	1.03	平成 7年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学科	4	110	—	425	学士 (工学)	1.04	—	—	
電子物質科学科	4	110	—	440	—	1.02	平成25年度	—	
化学バイオ工学科	4	112	—	427	学士 (工学又は学 術)	1.02	—	—	
数理システム工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.02	—	—	
物質工学科	4	—	—	—	—	—	平成 7年度	—	平成25年度より 学生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成25年度より 学生募集停止
農学部		185	3年次 10	655		1.04			
生物資源科学科	4	115	3年次 7	115	学士 (農学又は学 術)	0.98	平成28年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生命科学科	4	70	3年次 3	70	学士 (農学)	1.07	—	—	

共生バイオサイエンス学科	4	—	—	—	—	—	平成18年度	—	平成28年度より 学生募集停止
応用生物化学科	4	—	—	—	—	—	平成元年度	—	平成28年度より 学生募集停止
環境森林科学科	4	—	—	—	—	—	平成18年度	—	平成28年度より 学生募集停止
大学院人文社会科学研究科		36		72		0.98			
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間 科学)	0.95	平成15年度	静岡市駿河区大谷836	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	1.05	平成9年度	—	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.96	平成17年度	—	
大学院教育学研究科		76		156					
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.83	平成21年度	静岡市駿河区大谷836	
共同教科開発学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.25	平成24年度	—	
教育実践高度化専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.15	平成21年度	—	
大学院総合科学技術研究科		479		958		1.15			
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	1.00	平成27年度	浜松市中区城北3-5-1	
理学専攻	2	70	—	140	修士 (理学)	1.10	—	静岡市駿河区大谷836	
工学専攻	2	262	—	524	修士 (工学)	1.33	—	浜松市中区城北3-5-1	
農学専攻	2	87	—	174	修士 (農学)	0.78	—	静岡市駿河区大谷836	

大学院情報学研究科										
情報学専攻	2	—	—	—	修士 (情報学)	—	平成12年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
大学院理学研究科										
物理学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
化学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
地球科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院工学研究科										
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
電気電子工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
電子物質科学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成25年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
化学バイオ工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
数理システム工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
事業開発マネジメント専攻	2	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院農学研究科										
共生バイオサイエンス専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	平成20年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
環境森林科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院自然科学系教育部		50		150		0.92				

ナノビジョン工学専攻	3	13	—	39	博士 (学術又は工学)	0.66	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
光・ナノ物質機能専攻	3	12	—	36	博士 (学術、理学 又は工学)	0.80	〃	〃	
情報科学専攻	3	10	—	30	博士 (学術、情報 学、理学又 は工学)	1.10	〃	〃	
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21	博士 (学術、理学 又は工学)	1.28	〃	静岡市駿河区大谷836	
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24	博士 (学術、理 学、工学又 は農学)	0.95	〃	〃	
大学院法務研究科									
法務専攻	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成17年度	静岡市駿河区大谷836	平成28年度より 学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
31	14	10	2	57	35	23	9	3	70	35	24	12	3	74
(36)	(21)	(8)	(4)	(69)						[4]	[10]	[2]	[1]	[17]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
45	12	0			58	12	0			62	12	0		
(52)	(17)	(0)								[17]	[0]	[0]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合科学技術研究科 情報学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況, 方法等

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28 年 6 月 30 日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 静岡大学

(2) 大学名

静岡大学

(3) 大学の位置

〒432-8561

静岡県浜松市中区城北3丁目5番1号

(大学院総合科学技術研究科情報学専攻及び工学専攻)

〒422-8529

静岡県静岡市駿河区大谷836番地

(大学院総合科学技術研究科理学専攻及び農学専攻)

[〒422-8529
静岡県静岡市駿河区大谷836番地]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合科学技術研究科 理学専攻(修士課程) 修士(理学)	2 年	70 人	140 人	基礎となる学部等 理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成27年度	平成28年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 70 (-) [-]	1.1 倍				
志願者数	116 (-) [2]	10 (-) [10]	95 (1) [3]	() () []		
受験者数	107 (-) [2]	10 (-) [10]	90 (1) [3]	() () []		
合格者数	85 (-) [1]	8 (-) [8]	83 (1) [3]	() () []		
B 入学者数	76 (-) [1]	8 (-) [8]	70 (1) [2]	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.2		1			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 76	[-] (-) -	[2] (-) 70	[7] (-) 7			
2年次	/		[1] (-) 76	[-] (-) -			
計	[1] (-) 76	[-] (-) -	[10] (-) 153	[7] (-) 7			

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	84 人	1 人	平成27年度	1 人	1 人	他の教育機関への入学	1.2 %
			平成28年度	0 人	人		
平成28年度 入学者	70 人	0 人	平成28年度	0 人	人		0.0 %
合 計	154 人	1 人					0.6 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合科学技術研究科 理学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	MOTベンチャー戦略論Ⅰ	1・2前		2								兼2 オムバス
	MOTベンチャー戦略論Ⅱ	1・2後		2								兼2 オムバス
	現代経営論	1・2後		2								兼2 共同
	知的財産論	1・2後		2								兼1
	希少資源戦略論	1・2前		2								兼2 担当教員の見直しのため(27) 兼3 オムバス, 共同(一部)
	先端機器分析科学Ⅰ	1・2前		2		6	3					兼5 オムバス
	先端機器分析科学Ⅱ	1・2後		2		6	3 2	1				兼6 担当教員昇任のため(27) オムバス
	フロンティア科学特論Ⅰ	1・2前		1								兼6 オムバス, 集中
	フロンティア科学特論Ⅱ	1・2後		1								兼6 オムバス, 集中
	科学技術者倫理	1前		2			1					兼10 オムバス
	現代科学の最前線Ⅰ	1・2前		1		6 5 6						平成27年6月1日付で後任採用のため(28) 他大学への転出のため、6月1日付で後任採用予定(27) オムバス
	現代科学の最前線Ⅱ	1・2後		1		4 3	2 3 3					教授から教授へ昇任のため(28) オムバス
	科学コミュニケーション演習Ⅰ	1・2前		1		2	2 3 2	0 1 0				講師から准教授へ昇任のため(28) オムバス, 集中
	科学コミュニケーション演習Ⅱ	1・2後		1		2	2 3 2	1				講師から准教授へ昇任のため(28) オムバス, 集中
	環境科学特論	1後		2		1						英語対応科目
	科学技術政策特論	1・2前		2								兼1
	マーケティング論	1・2前		2								兼3 兼1 担当教員の見直しのため(27)
	情報システム論	未開講 1・2前		2								兼1 履修希望者がいなかったため(27)
	情報セキュリティマネジメント論	1・2後		2								兼1
	応用数学概論	1・2前		2								兼1
	応用数学特論	1・2前		2								兼1
	量子工学特論	1・2前		2								兼1
	工学基礎化学特論Ⅰ	1・2前		2								兼1
	工学基礎化学特論Ⅱ	1・2後		2								兼1
	応用生命科学概論	1・2前		2								兼1
	応用プログラミング	1・2前		2								兼2 授業理解及び演習補助のため兼担教員を追加(27) 兼1 集中
	システム・ネットワーク論	1・2前		2								兼4 オムバス
	コミュニケーション論	1・2後		2								兼6 オムバス, 英語対応科目
	情報資源総論	1・2前 1・2後		2								兼3 科目間調整のため開講期変更(27) オムバス, 英語対応科目
	情報社会セキュリティ論	1・2後		2								兼3 オムバス
研究科	先端フィールド科学特別演習	1・2前		1								兼4 共同, 集中

共通科目	統合オミックス特論Ⅰ	1・2前	2						兼2 兼4	非常勤講師の所属先の都合により担当が難しくなったため人数変更(27) オムバス
	統合オミックス特論Ⅱ	1・2後	2		1				兼2	オムバス
	分子構造解析特論	1・2前	2		1	2			兼1 兼2	非常勤講師の都合により担当が難しくなったため人数変更(28) オムバス, 集中
	分子構造解析演習	1・2前	1		1	3			兼2	オムバス, 集中
	ゲノム機能解析演習	1・2後	1			1			兼2	オムバス, 集中
	災害情報学特論	1・2前	2						兼1	
	津波工学特論	1・2後	2			1				
	リスクマネジメント概論	1・2後	2						兼1	集中
	地震災害論	1・2前 1・2後 1・2前	1						兼1	兼任教員の本務との業務重複の解消のため(28) 兼任教員の本務との業務重複のため(27) 集中
	火山災害論	1・2後	1						兼1	集中
	環境解析学	2後	1						兼2	集中
	環境生態系学	1前	2		1					集中
	生物地球化学	2前	2		1	1				集中
	環境倫理学	2後	1						兼1	集中
	環境システム工学	1後	1						兼3	集中
	生物多様性保全学	1後	1					2 1 2		授業の実施体制の見直しのため(28) 授業の実施体制の見直しのため(27) 集中
	Science and Technology in Japan	1・2前	2						兼1	
	Shizuoka Enterprises in South and Southeast Asia	1・2後	2						兼1	
	Professional Presentations in English	1・2前	1						兼1	
	English Thesis Writing	1・2後	1						兼1	
	大学院キャリアデザイン	1・2前	1						兼13 兼1	教育効果の観点から授業形態を変更したため(27) オムバス, 集中
	大学院インターンシップ	1・2前・後	1						兼1	集中
	海外大学交流研修	1・2前・後	2						兼3	集中
	創造科学技術入門セミナーⅠ	1・2前	1						兼7	オムバス
	創造科学技術入門セミナーⅡ	1・2前	1		3	2	1		兼1	オムバス
	博士キャリアデザイン	1・2後	1		1				兼5 兼4	教育体制充実のため教員を追加したため(28) 集中
	創造科学技術インターンシップ演習	2前・後	1		1					
創造科学技術先端機器分析演習Ⅰ	2後	1						兼1		
創造科学技術先端機器分析演習Ⅱ	2後	1		1						
数学コース	数学特別講究Ⅰ	1前	2		6 5 6	4	2			平成27年6月1日付で後任採用のため(28) 他大学への転出のため、6月1日付で後任採用予定(27) 英語対応科目
	数学特別講究Ⅱ	1後	2		6 5 6	4	2			平成27年6月1日付で後任採用のため(28) 他大学への転出のため、6月1日付で後任採用予定(27) 英語対応科目

コース必修科目	物理学コース	数学特別研究	1~2通	12	6 5 6	4	2		平成27年6月1日付で後任採用のため(28) 他大学への転出のため、6月1日付で後任採用予定(27) 英語対応科目
		物理学特別演習Ⅰ	1前	2	7	6 4	1 3	1	教育体制の充実のため教員を追加したため及び講師から准教授へ2名昇任のため(27) 英語対応科目
		物理学特別演習Ⅱ	1後	2	7	6 4	1 3	1	教育体制の充実のため教員を追加したため及び講師から准教授へ2名昇任のため(27) 英語対応科目
	物理学特別研究	1~2通	12	7	6 4	1 3	1	教育体制の充実のため教員を追加したため及び講師から准教授へ2名昇任のため(27) 英語対応科目	
	化学コース	化学特別演習Ⅰ	1前	2	6	9 8 7	3	0 +	講師から准教授へ1名、助教から講師へ1名昇任のため(28) 教育体制の充実のため教員を追加(27) 英語対応科目
		化学特別演習Ⅱ	1後	2	6	9 8 7	3	0 +	講師から准教授へ1名、助教から講師へ1名昇任のため(28) 教育体制の充実のため教員を追加(27) 英語対応科目
		化学特別研究	1~2通	12	6	9 8 7	3	0 +	講師から准教授へ1名、助教から講師へ1名昇任のため(28) 教育体制の充実のため教員を追加(27) 英語対応科目
	物科学コース	生物科学特別演習Ⅰ	1通	2	7	6 5 4	3 4		講師から准教授へ昇任のため(28) 英語対応科目
		生物科学特別演習Ⅱ	2通	2	7	6 5 4	3 3		講師から准教授へ昇任のため(28) 英語対応科目
		生物科学特別研究	1~2通	12	7	6 5 4	3 3		講師から准教授へ昇任のため(28) 英語対応科目
	地球科学コース	地球科学特別演習Ⅰ	1前	1	7 6	5 4	1 2	2 3	担当教員昇任のため(28) 英語対応科目
		地球科学特別演習Ⅱ	1後	1	7 6	5 4	1 2	2 3	助教から講師へ1名、准教授から教授へ1名、講師から准教授へ2名昇任のため(28) 英語対応科目
		地球科学特別演習Ⅲ	2前	1	7 6	5 4	1 2	2 3	助教から講師へ1名、准教授から教授へ1名、講師から准教授へ2名昇任のため(28) 英語対応科目
		地球科学特別演習Ⅳ	2後	1	7 6	5 4	1 2	2 3	助教から講師へ1名、准教授から教授へ1名、講師から准教授へ2名昇任のため(28) 英語対応科目
		地球科学特別研究	1~2通	12	7 6	5 4	1 2	2 3	助教から講師へ1名、准教授から教授へ1名、講師から准教授へ2名昇任のため(28) 英語対応科目
数学コース	代数学特論	1・2前	2	1				英語対応科目	
	代数系特論	1・2後	2	1				英語対応科目	
	幾何学特論	未開講 1・2前	2		1			履修希望者がいなかったため(28) 英語対応科目	
	幾何系特論	1・2後	2		1			英語対応科目	
	解析学特論	未開講 1・2前	2		1			履修希望者がいなかったため(28) 英語対応科目	
	解析系特論	1・2後 未開講 1・2後	2		1			通常開講予定(28) 履修希望者がいなかったため(27) 英語対応科目	
	数理論理学特論	1・2前	2	1				英語対応科目	
	数学基礎論特論	1・2後	2		1			英語対応科目	
	確率論特論	1・2前	2	1				英語対応科目	
	複素解析学特論	1・2後	2		1			英語対応科目	
	位相数学特論	1・2前	2			1		英語対応科目	
	組合せ数学特論	1・2後	2	1		+		育児休業のため担当教員変更(28) 英語対応科目	
数学特別講義Ⅰ	1・2前	2					兼1 隔年、集中		

	数学特別講義Ⅱ	1・2前	2						兼1	隔年，集中
	数学特別講究Ⅲ	2前	2	6	4	2				英語対応科目
	数学特別講究Ⅳ	2後	2	6	4	2				英語対応科目
物理学コース	数理物理学特論	1・2前	1	1						英語対応科目
	多体系数理特論	1・2後 未開講 1・2後	2	1						通常開講予定(28) 履修希望者がいなかったため(27) 英語対応科目
	量子光学特論	1・2後	2	1		1				授業実施体制の見直しのため(28) 英語対応科目
	相対論的量子力学特論	1・2前	2	1	1					授業実施体制の見直しのため(28) 英語対応科目
	素粒子物理学特論	1・2前	2		1	1				授業実施体制の見直しのため(28) 英語対応科目
	物性物理学特論	1・2後	2	1	1					授業実施体制の見直しのため(28) 英語対応科目
	実験物理学特論	1・2後	2			1				英語対応科目
	プラズマ実験学特論	1・2後	1	1						英語対応科目
	生物物理学特論	1・2前	2	1	1					授業実施体制の見直しのため(28) 英語対応科目
	物理学特別講義Ⅰ	1・2前	1						兼1	隔年，集中
	物理学特別講義Ⅱ	1・2前 1・2後	1						兼1	兼任教員の本務との業務重複のため(27) 隔年，集中
	物理学特別講義Ⅲ	1・2前	1						兼1	隔年，集中
	物理学特別講義Ⅳ	1・2後	1						兼1	隔年，集中
	物理学特別演習Ⅲ	2前	2	7	6	4	1	1		教育体制の充実のため教員を追加したため及び講師から准教授へ2名昇任のため(27) 英語対応科目
物理学特別演習Ⅳ	2後	2	7	6	4	1	1		教育体制の充実のため教員を追加したため及び講師から准教授へ2名昇任のため(27) 英語対応科目	
化学コース	構造物理化学特論	1・2前	2	1						英語対応科目
	化学統計学特論	1・2後	2		1					英語対応科目
	遺伝生化学特論	未開講 1・2前	2	1						履修希望者がいなかったため(28) 英語対応科目
	生化学特論	1・2前	2	1						英語対応科目
	無機化学特論	1・2前	2	1						英語対応科目
	無機固体化学特論	1・2後	2		1					英語対応科目
	無機量子化学特論	1・2前	2		1					英語対応科目
	有機化学特論	1・2後	2	1						英語対応科目
	有機金属化学特論	1・2後	2		1					英語対応科目
	有機超分子化学特論	1・2前	2	1						英語対応科目
	構造有機化学特論	1・2後	2		1					英語対応科目
	放射線測定・解析特論	1前	1		1					英語対応科目
	放射能利用分析特論	1前	1		2	1				英語対応科目
	放射科学特別演習	1前	1		2	1				英語対応科目
	先進放射化学特論	1・2後	2		1					英語対応科目
先進エネルギー化学特論	1・2後	2			1				英語対応科目	
放射線管理学特別実習	1・2前・後	1		2	1				集中，英語対応科目	

コース選択科

目	化学特別講義 I	1・2前	1						兼1	隔年, 集中
	化学特別講義 II	1・2後	1						兼1	隔年, 集中
	化学特別演習 III	2前	1	6	9 8 7	3	0 +			担当教員昇任のため(28) 教育体制の充実のため教員を追加 (27) 英語対応科目
	化学特別演習 IV	2後	1	6	9 8 7	3	0 +			担当教員昇任のため(28) 教育体制の充実のため教員を追加 (27) 英語対応科目
生物科学コース	細胞生物学特論 I	1・2前	1	1						英語対応科目
	細胞生物学特論 II	1・2前	1	1						英語対応科目
	発生生物学特論 I	1・2前	1	1						英語対応科目
	発生生物学特論 II	1・2前	1	1						英語対応科目
	分子生物学特論 I	1・2前	1		1					英語対応科目
	分子生物学特論 II	1・2前	1		1					英語対応科目
	分子遺伝学特論 I	1・2前	1	1						英語対応科目
	分子遺伝学特論 II	1・2前	1	1						英語対応科目
	内分泌学特論 I	1・2後	1	1						英語対応科目
	内分泌学特論 II	1・2後	1	1						英語対応科目
	神経科学特論 I	1・2後	1	1						英語対応科目
	神経科学特論 II	1・2後	1	1						英語対応科目
	微生物学特論 I	1・2前	1	1						英語対応科目
	微生物学特論 II	1・2前	1	1						英語対応科目
	植物発生学特論 I	1・2前	1		1					英語対応科目
	植物発生学特論 II	1・2前	1		1					英語対応科目
	植物生理学特論 I	1・2前	1		1					英語対応科目
	植物生理学特論 II	1・2前	1		1					英語対応科目
	分子発生学特論 I	1・2後	1	1						英語対応科目
	分子発生学特論 II	1・2後	1	1						英語対応科目
	植物分類学特論 I	1・2後 1・2前	1		1					担当教員の出張及び科目間調整のため開講期変更(28) 英語対応科目
	植物分類学特論 II	1・2後 1・2前	1		1					担当教員の出張及び科目間調整のため開講期変更(28) 英語対応科目
	生物科学特別講義 I	1・2後 1・2前	1							兼任教員の本務との業務重複のため(27) 隔年, 集中
	生物科学特別講義 II	1・2後 1・2前	1							兼任教員の本務との業務重複のため(27) 隔年, 集中
生物科学特別講義 III	1・2前	1							隔年, 集中	
生物科学特別講義 IV	1・2後 1・2前	1							兼任教員の本務との業務重複のため(28) 隔年, 集中	
生物科学論文演習 I	1通	1	7	6 5	3 4				担当教員昇任のため(28) 英語対応科目	
生物科学論文演習 II	2通	1	7	6 5	3 4				担当教員昇任のため(28) 英語対応科目	
進化古生物学特論	1・2前	2		1	+				担当教員昇任のため(28) 英語対応科目	
多様性生物学特論	1・2後	2		1					英語対応科目	
地球環境微生物学特論	1・2前	2		1					英語対応科目	
構造地質学特論	1・2前	2		1					英語対応科目	

地球科学コース	構造岩石学特論	1・2後	2	1					英語対応科目
	地球化学特論	1・2後	2	1					英語対応科目
	第四紀学特論	1・2後	2	1					英語対応科目
	海洋学特論	1・2前	1		1				英語対応科目
	古動物学特論	1・2後	2		1				英語対応科目
	地球科学特別講義Ⅰ	1・2後 1・2前	1						兼1 兼任教員の本務との業務重複のため(27) 隔年, 集中
	地球科学特別講義Ⅱ	1・2前	1						兼1 隔年, 集中
	地球科学特別演習Ⅴ	1・2通	1		7 6	5 4	1 2	2 3	担当教員昇任のため(28) 英語対応科目
地球科学特別演習Ⅵ	2通	1		7 6	5 4	1 2	2 3	担当教員昇任のため(28) 英語対応科目	
	理学同窓会寄付講義	1前	1	1					兼6 兼4 教育体制の充実のため教員を追加(27) オムバス 物理学, 化学, 生物科学, 地球科学 のコース選択科目 数学コースの学生が履修した場合は 自由科目

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について, 設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても, 設置時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	171	0	171	0	171	0	171	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	数学特別講義Ⅱ	2	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(27)
2	物理学特別講義Ⅲ	1	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(27)
3	物理学特別講義Ⅳ	1	1・2後	専門	選択	計画時より隔年開講のため(27)
4	化学特別講義Ⅱ	1	1・2後	専門	選択	計画時より隔年開講のため(27)
5	生物科学特別講義Ⅲ	1	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(27)
6	生物科学特別講義Ⅳ	1	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(27)
7	地球科学特別講義Ⅱ	1	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(27)
8	数学特別講義Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(28)
9	物理学特別講義Ⅰ	1	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(28)
10	物理学特別講義Ⅱ	1	1・2後	専門	選択	計画時より隔年開講のため(28)
11	化学特別講義Ⅰ	1	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(28)
12	生物科学特別講義Ⅰ	1	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(28)
13	生物科学特別講義Ⅱ	1	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(28)
14	地球科学特別講義Ⅰ	1	1・2前	専門	選択	計画時より隔年開講のため(28)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>未開講科目について</p> <p>※大学の所見 未開講科目はいずれも理学専攻の専任教員の専門分野以外や当該分野の最先端の内容について、付加的に開講する科目として、当初計画より隔年開講としている科目であり、平成28年度に開講することから学生への影響はない。</p> <p>※学生への周知方法 平成28年度に開講予定であることを含め、学生には掲示及びメールにより周知している。</p> <p style="text-align: right;">(27)</p>
<p>未開講科目について</p> <p>※大学の所見 未開講科目はいずれも理学専攻の専任教員の専門分野以外や当該分野の最先端の内容について、付加的に開講する科目として、当初計画より隔年開講としている科目であり、平成27年度に開講したことから学生への影響はない。</p> <p>※学生への周知方法 平成27年度に開講したことを含め、学生には掲示及びメールにより周知している。</p> <p style="text-align: right;">(28)</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.04}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学 術 雑 誌		視 聴 覚 資 料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電 子 ジ ャ ー ナ ル [うち外国書]				点
	[]	[]	[]	()	()	()		
	([])	([])	([])	()	()	()		
計	[]	[]	[]	()	()	()		
([])	([])	([])	()	()	()			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千 円	千 円	図 書 購 入 費	千 円	千 円	千 円
	共 同 研 究 費 等	千 円	千 円	設 備 購 入 費	千 円	千 円	千 円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部		450	3年次 5	1,870		1.01			平成24年度入学生より、人文学部から人文社会科学部へ学部名称変更
社会学科	4	70	—	295	学士 (社会学又は学術)	1.03	昭和57年度	静岡市駿河区大谷836	
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学又は学術)	1.05	平成4年度	〃	
法学科	4	90	3年次 2	364	学士 (法学又は学術)	1.05	昭和53年度	〃	
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次 3	126	学士 (法学)	0.94	平成8年度	〃	
経済学科	4	155	—	665	学士 (経済学又は学術)	1.02	昭和53年度	〃	
経済学科(夜間主コース)	4	30	—	120	学士 (経済学)	0.82	平成8年度	〃	
教育学部		300		1,500		1.01			
学校教育教員養成課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.01	平成10年度	静岡市駿河区大谷836	
生涯教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	
総合科学教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より 学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より 学生募集停止
情報学部		245		845		1.03			
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.06	平成8年度	浜松市中区城北3-5-1	
行動情報学科	4	70	—	70	〃	1.05	平成28年度	〃	

情報社会学科	4	75	—	375	学士 (情報学又は 学術)	1.01	平成8年度	—	—
理学部		240		885		1.01			
数学科	4	38	—	143	学士 (理学)	1.04	昭和40年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学科	4	48	—	183	学士 (理学又は学 術)	1.01	—	—	
化学科	4	52	—	187	—	1.01	—	—	
生物科学科	4	52	—	187	—	1.01	平成18年度	—	
地球科学科	4	50	—	185	—	1.02	—	—	
工学部		550		2,155		1.03			
機械工学科	4	168	—	663	学士 (工学又は学 術)	1.03	平成7年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学科	4	110	—	425	学士 (工学)	1.04	—	—	
電子物質科学科	4	110	—	440	—	1.02	平成25年度	—	
化学バイオ工学科	4	112	—	427	学士 (工学又は学 術)	1.02	—	—	
数理システム工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.02	—	—	
物質工学科	4	—	—	—	—	—	平成7年度	—	平成25年度より 学生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成25年度より 学生募集停止
農学部		185	3年次 10	655		1.04			
生物資源科学科	4	115	3年次 7	115	学士 (農学又は学 術)	0.98	平成28年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生命科学科	4	70	3年次 3	70	学士 (農学)	1.07	—	—	

共生バイオサイエンス学科	4	—	—	—	—	—	平成18年度	—	平成28年度より 学生募集停止
応用生物化学科	4	—	—	—	—	—	平成元年度	—	平成28年度より 学生募集停止
環境森林科学科	4	—	—	—	—	—	平成18年度	—	平成28年度より 学生募集停止
大学院人文社会科学研究科		36		72		0.98			
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間 科学)	0.95	平成15年度	静岡市駿河区大谷836	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	1.05	平成9年度	—	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.96	平成17年度	—	
大学院教育学研究科		76		156					
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.83	平成21年度	静岡市駿河区大谷836	
共同教科開発学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.25	平成24年度	—	
教育実践高度化専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.15	平成21年度	—	
大学院総合科学技術研究科		479		958		1.15			
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	1.00	平成27年度	浜松市中区城北3-5-1	
理学専攻	2	70	—	140	修士 (理学)	1.10	—	静岡市駿河区大谷836	
工学専攻	2	262	—	524	修士 (工学)	1.33	—	浜松市中区城北3-5-1	
農学専攻	2	87	—	174	修士 (農学)	0.78	—	静岡市駿河区大谷836	

大学院情報学研究科										
情報学専攻	2	—	—	—	修士 (情報学)	—	平成12年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
大学院理学研究科										
物理学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
化学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
地球科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院工学研究科										
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
電気電子工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
電子物質科学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成25年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
化学バイオ工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
数理システム工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
事業開発マネジメント専攻	2	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院農学研究科										
共生バイオサイエンス専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	平成20年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
環境森林科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院自然科学系教育部		50		150		0.92				

ナノビジョン工学専攻	3	13	—	39	博士 (学術又は工学)	0.66	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
光・ナノ物質機能専攻	3	12	—	36	博士 (学術、理学 又は工学)	0.80	〃	〃	
情報科学専攻	3	10	—	30	博士 (学術、情報 学、理学又 は工学)	1.10	〃	〃	
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21	博士 (学術、理学 又は工学)	1.28	〃	静岡市駿河区大谷836	
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24	博士 (学術、理 学、工学又 は農学)	0.95	〃	〃	
大学院法務研究科									
法務専攻	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成17年度	静岡市駿河区大谷836	平成28年度より 学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
33	25	14	4	76	34	31	10	3	78	34	31	10	3	78
(32)	(28)	(12)	(5)	(77)						[1]	[6]	[Δ4]	[Δ1]	[2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
74	2	0			76	2	0			76	2	0		
(75)	(2)	(0)								[2]	[0]	[0]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合科学技術研究科 理学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28 年 6 月 30 日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 静岡大学

(2) 大学名

静岡大学

(3) 大学の位置

〒432-8561

静岡県浜松市中区城北3丁目5番1号

(大学院総合科学技術研究科情報学専攻及び工学専攻)

〒422-8529

静岡県静岡市駿河区大谷836番地

(大学院総合科学技術研究科理学専攻及び農学専攻)

[〒422-8529
静岡県静岡市駿河区大谷836番地]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等 の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合科学技術研究科 工学専攻(修士課程) 修士(工学)	2 年	262 人	524 人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成27年度	平成28年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 262 (-) [-]	1.33倍				
志願者数	383 (2) [7]	61 (2) [54]	367 (7) [9]	() []		
受験者数	379 (2) [7]	47 (2) [41]	355 (7) [9]	() []		
合格者数	351 (1) [2]	43 (2) [33]	333 (7) [9]	() []		
B 入学者数	343 (1) [2]	36 (2) [30]	322 (6) [9]	() []		
入学定員超過率 B/A	1.44		1.22			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] (-) 343	[-] (-) -	[9] (-) 322	[29] (-) 35			
2年次	/		[2] (-) 340	[-] (-) -			
計	[2] (-) 343	[-] (-) -	[40] (-) 697	[29] (-) 35			

- (注)
- ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	379 人	4 人	平成27年度	4 人	1 人	就職(2人)、家庭の事情(1人)、病気(1人)	1.1 %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	322 人	0 人	平成28年度	人	人		0.0 %
合 計	701 人	4 人					0.6 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合科学技術研究科 工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	MOTベンチャー戦略論Ⅰ	1・2前		2		1						兼2 オムニバス
	MOTベンチャー戦略論Ⅱ	1・2後		2		1						兼1 オムニバス
	現代経営論	1・2後		2		1						兼1 共同
	知的財産論	1・2後		2		1						
	希少資源戦略論	1・2前		2		1		1	2			担当教員の見直しのため(28) 担当教員の見直しのため(27) オムニバス、共同(一部)
	先端機器分析科学Ⅰ	1・2前		2								兼14 オムニバス
	先端機器分析科学Ⅱ	1・2後		2								兼15 オムニバス
	フロンティア科学特論Ⅰ	1・2前		1								兼6 オムニバス、集中
	フロンティア科学特論Ⅱ	1・2後		1								兼6 オムニバス、集中
	科学技術者倫理	1前		2				1				兼10 オムニバス
	現代科学の最前線Ⅰ	1・2前		1								兼6 オムニバス
	現代科学の最前線Ⅱ	1・2後		1								兼6 オムニバス
	科学コミュニケーション演習Ⅰ	1・2前		1								兼7 オムニバス、集中
	科学コミュニケーション演習Ⅱ	1・2後		1								兼7 オムニバス、集中
	環境科学特論	1後		2								兼1 英語対応科目
	科学技術政策特論	1・2前		2				1				
	マーケティング論	1・2前		2								兼3 兼1 担当教員の見直しのため(27)
	情報システム論	1・2前		2								兼1
	情報セキュリティマネジメント論	1・2後		2								兼1
	応用数学概論	1・2前		2				1				
	応用数学特論	1・2前		2				1				
	量子工学特論	1・2前		2		1						
	工学基礎化学特論Ⅰ	1・2前		2		1						
	工学基礎化学特論Ⅱ	1・2後		2		1						
	応用生命科学概論	1・2前		2				1				
	応用プログラミング	1・2前		2								兼2 授業理解及び演習補助のため兼担教員を追加(27) 兼1 集中
	システム・ネットワーク論	1・2前		2								兼4 オムニバス
	コミュニケーション論	1・2後		2								兼6 オムニバス、英語対応科目

研究科共通科目	情報資源総論	1・2前 1・2後	2			兼3 科目間調整のため開講期変更(27) オムニバス, 英語対応科目
	情報社会セキュリティ論	1・2後	2			兼3 オムニバス
	先端フィールド科学特別演習	1・2前	1			兼4 共同, 集中
	統合オミックス特論 I	1・2前	2			兼2 非常勤講師の所属先の都合により担当が難しくなったため人数変更(27) 兼4 オムニバス
	統合オミックス特論 II	1・2後	2			兼3 オムニバス
	分子構造解析特論	1・2前	2			兼5 オムニバス, 集中
	分子構造解析演習	1・2前	1			兼6 オムニバス, 集中
	ゲノム機能解析演習	1・2後	1			兼6 オムニバス, 集中
	災害情報学特論	1・2前	2			兼1
	津波工学特論	1・2後	2			兼1
	リスクマネジメント概論	1・2後	2			兼1 集中
	地震災害論	1・2前	1			兼1 集中
	火山災害論	1・2後	1			兼1 集中
	環境解析学	2後	1	1		兼1 担当教員の見直しのため(28) 集中
	環境生態系学	1前	2			兼1 集中
	生物地球化学	2前	2			兼2 集中
	環境倫理学	2後	1			兼1 集中
	環境システム工学	1後	1	3		集中
	生物多様性保全学	1後	1			兼1 授業の実施体制の見直しのため(27) 兼2 集中
	Science and Technology in Japan	1・2前	2			兼1
	Shizuoka Enterprises in South and Southeast Asia	1・2後	2	1	1	兼1 担当教員の見直しのため(28)
	Professional Presentations in English	1・2前	1			兼1 担当教員の見直しのため(27) 兼3 共同
	English Thesis Writing	1・2前・後	1			兼3 共同
	大学院キャリアデザイン	1・2前	1			兼1
	大学院インターンシップ	1・2前・後	1	5 6	1	担当教員の見直しのため(27) 集中
	海外大学交流研修	1・2前・後	2		1	兼2 集中
	創造科学技術入門セミナー I	1・2前	1	5 4	3 2 3	担当教員の見直しのため(28) 担当教員教授昇任のため(27) オムニバス
	創造科学技術入門セミナー II	1・2前	1			兼7 オムニバス
	博士キャリアデザイン	1・2後	1			兼5 集中
	創造科学技術インターンシップ演習	2前・後	1			兼1
創造科学技術先端機器分析演習 I	2後	1	1			
創造科学技術先端機器分析演習 II	2後	1			兼1	

コース必修科目	機械工学コース	機械工学セミナー第一	1通	2	21 20 21	19 17	1 3	6 5	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
		機械工学セミナー第二	2通	2	21 20 21	19 17	1 3	6 5	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
		機械工学研究第一	1通	4	21 20 21	19 17	1 3	6 5	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
		機械工学研究第二	2通	4	21 20 21	19 17	1 3	6 5	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
	電気電子工学コース	電気電子工学セミナー第一	1通	2	14 13	14	2 1	4 2 3	担当教員昇任等のため(28) 担当教員講師昇任のため(27) 英語対応科目
		電気電子工学セミナー第二	2通	2	14 13	14	2 1	4 2 3	担当教員昇任等のため(28) 担当教員講師昇任のため(27) 英語対応科目
		電気電子工学研究第一	1通	4	14 13	14	2 1	4 2 3	担当教員昇任等のため(28) 担当教員講師昇任のため(27) 英語対応科目
		電気電子工学研究第二	2通	4	14 13	14	2 1	4 2 3	担当教員昇任等のため(28) 担当教員講師昇任のため(27) 英語対応科目
	電子物質科学コース	電子物質科学セミナー第一	1通	2	21 20 19	16 15	2	7 5 6	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
		電子物質科学セミナー第二	2通	2	21 20 19	16 15	2	7 5 6	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
		電子物質科学研究第一	1通	4	21 20 19	16 15	2	7 5 6	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
		電子物質科学研究第二	2通	4	21 20 19	16 15	2	7 5 6	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
	化学バイオ工学コース	特別セミナー I	1通	2	14 13 12	17 14 15	1	3 6	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
		特別セミナー II	2通	2	14 13 12	17 14 15	1	3 6	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
		化学バイオ工学研究 I	1通	4	14 13 12	17 14 15	1	3 6	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
		化学バイオ工学研究 II	2通	4	14 13 12	17 14 15	1	3 6	担当教員昇任等のため(28) 担当教員昇任等のため(27) 英語対応科目
	数理システム工学コース	応用システム工学演習	1・2後	2	1	3 2			担当教員の見直しのため(27) ムニバス
		数理システム工学セミナー第一	1通	2	9 7	11 12 11		2 1 2	担当教員昇任等のため(28) 担当教員准教授昇任のため(27) 英語対応科目
		数理システム工学セミナー第二	2通	2	9 7	11 12 11		2 1 2	担当教員昇任等のため(28) 担当教員准教授昇任のため(27) 英語対応科目
		数理システム工学研究第一	1通	4	9 7	11 12 11		2 1 2	担当教員昇任等のため(28) 担当教員准教授昇任のため(27) 英語対応科目
数理システム工学研究第二		2通	4	9 7	11 12 11		2 1 2	担当教員昇任等のため(28) 担当教員准教授昇任のため(27) 英語対応科目	
事業開発マネジメント	特定課題研究 I	1通	4	6 7 8	2 3			担当教員の見直しのため(28) 担当教員退職のため(27) 英語対応科目	
	特定課題研究 II	2通	4	6 7 8	2 3			担当教員の見直しのため(28) 担当教員退職のため(27) 英語対応科目	

	トコース	特定課題研究Ⅲ	2通	4	6 7 8	2 3				担当教員の見直しのため(28) 担当教員退職のため(27) 英語対応科目
機械工学コース		宇宙工学特論	1・2前	2	2					オムニバス
		流体力学特論	1・2前	2		2				オムニバス
		応用熱工学特論Ⅰ	1・2後	2	2					オムニバス
		材料強度設計	1・2前	2	1	1				オムニバス
		ロボット工学特論	1・2後	2		1 2				担当教員長期出張のため(28) オムニバス
		生産システム特論	1・2後	2		1				
		信号処理	1・2後	2		1				
		フotonics工学	1・2前	2	1					
		メカトロニクス特論	1・2前	2	1	1				オムニバス
		Advanced Photonics	1・2前	2		1				
	Advanced Thermal Engineering	1・2後	2	1						
電気電子工学コース		応用エレクトロニクス特論	1・2前	2		2				オムニバス
		デジタル計測工学特論	1・2前	2	1					
		デジタル通信システム特論	1・2前	2	1	1				オムニバス、英語対応科目
		視聴覚情報処理工学特論	1・2後 1・2前	2	1	2				担当教員教授昇任等のため(28) カリキュラム編成調整のため(27) オムニバス、英語対応科目
		電機エネルギー変換工学特論	1・2後	2	1					英語対応科目
	Advanced Control System Engineering	1・2後	2		1					
電子物質科学コース		Advanced Solid State Physics	1・2前	2	1	1				オムニバス
		集積電子回路工学特論	1・2後	2	2	1				オムニバス、英語対応科目
		Advanced Quantum Electronics	1・2後	2	1					
		Nanomaterials	1・2後	2	1					
		Energy Chemistry	1・2前	2		2				オムニバス
化学バイオ工学コース		無機化学特論	1・2後	2	1	1				オムニバス
		物理化学特論	1・2後	2	2					オムニバス
		Advanced Organic Chemistry	1・2前	2	2 4	4				担当教員教授昇任のため(27) オムニバス
		Advanced Chemical Engineering	1・2後	2		2				オムニバス
		生体高分子材料学特論	1・2前	2	1					
		生物化学工学特論	1・2前	2	1	1				オムニバス
		バイオメテック工学	1・2後	2	3 4 3	1		1		担当教員退職のため(28) 担当教員の見直しのため(27) オムニバス
	Advanced Bio-functional Molecules	1・2前	2	1 2 4	1				担当教員の見直しのため(28) 担当教員の見直しのため(27)	

	Microbes and Enzyme Engineering	1・2前	2	1	1				オムニバス
数理システム工学コース	環境計画	1・2前	2	1					
	動的システム論	1・2前	2	1					
	分散システム論	1・2後 1・2前	2		1				担当教員長期出張のため(27) 英語対応科目
	集合・論理・位相	1・2後	2	1					
事業開発マネジメントコース	マーケティング入門	1・2前	2	1	1				兼1 担当教員の見直しのため(28)
	経営戦略論	1・2前	2	1					
	ものづくり戦略論	1・2前	2	1					兼1 担当教員の見直しのため(27)
	データ分析及び演習	1・2前	2	1					
	財務戦略論	1・2前	2	1					
機械工学コース	航空工学特論	1・2前	2		2				オムニバス
	環境エネルギー工学特論	1・2後	2	2					オムニバス
	応用熱工学特論Ⅱ	1・2後	2		2				オムニバス
	複合材料工学	1・2前	2	2	1				担当教員教授昇任のため(28) オムニバス
	塑性理論	1・2前	2	2					オムニバス
	数値塑性力学	1・2後	2		1				
	振動工学特論	1・2後	2	1					
	情報工学特論	1・2後	2	1	1				オムニバス
	マルチフィジックス	1・2前	2	2					オムニバス
	超精密計測	1・2後	2	1	1				オムニバス
	マイクロメカニクス	1・2後	2	1					
	振動・波動工学	1・2前	2	1		1			オムニバス
	ヒューマンセンシング	1・2後	2	2					オムニバス
	Technical Writing & Presentation	1・2後	2		2	1			担当教員准教授新規採用のため(28)
	電気電子工学コース	Advanced Mechanical Engineering I	1・2後	2	6	6			
Advanced Mechanical Engineering II		1・2後	2	6	5 7				担当教員の見直しのため(28) オムニバス
Advanced Mechanical Engineering III		1・2後	2	9	6 4	1 3			担当教員准教授昇任のため(27) オムニバス
音響工学特論		1・2後	2	1					
生体計測工学特論		1・2後	2	1					
認知脳科学特論		1・2後	2	1					
電気電子工学コース	薄膜工学特論	1・2後	2	1	1				オムニバス
	電力システム工学特論	1・2前	2		1				
	画像情報処理工学特論	1・2前	2		1				
	集積回路プロセス工学特論	1・2後	2		1				

目	I ス	電気電子工学特別講義第一	1・2後	1					兼1 集中
		電気電子工学特別講義第二	1・2後	1					兼1 集中
		光エレクトロニクス	1・2後	2	2				オムニバス、英語対応科目
		生命工学特論	1・2前	2			1		英語対応科目
		高電圧・放電工学特論	1・2後	2	2	1			オムニバス、英語対応科目
一般 専門 科目	電子 物質 科学 コース	プラズマエレクトロニクス	1・2後	2	1	1			オムニバス
		結晶工学	1・2後	2	1	1 2 +			担当教員長期出張のため(28) 担当教員の見直しのため(27) オムニバス
		半導体電子物性論	1・2後	2		1			
		エネルギーデバイス物性論	1・2前	2	2				オムニバス
		波動光学	1・2後	2	1				
		量子電子物性	1・2前	2		1			
		ナノ構造物の電気伝導論	1・2前	2		1			
		量子効果デバイス	1・2前	2	1	2	1		担当教員の見直しのため(28) 担当教員の見直しのため(27) オムニバス
		光デバイス特論	1・2前	2	1	1			オムニバス
		電子ディスプレイ工学	1・2前	2	2				オムニバス
		無機材料特論	1・2前	2	1	1			担当教員の見直しのため(27)
		高分子材料特論	1・2前	2	1				
		光機能材料特論	1・2前	2	1	1			オムニバス
		エネルギー材料特論	1・2前	2	2				オムニバス
		固体表面化学特論	1・2前	2	1				
		材料物性特論	1・2後	2	2 +	+			担当教員教授昇任のため(27) オムニバス
		材料評価特論	1・2後	2	1	1			オムニバス
		技術者倫理特論	1・2前	2					兼1
		電子物質科学特別講義第一	1・2前	1					兼1 集中
		電子物質科学特別講義第二	1・2後	1		1			兼1 担当教員准教授新規採用のため(27) 集中
化学 バイ オ工 学 コース	応用化学特論	1・2後	2		1	1		オムニバス	
	生物物理化学特論	1・2後	2		1				
	バイオ光学特論	1・2後	2		1				
	生物資源利用特論	1・2後	2	1	1			オムニバス	
	生体医用情報工学特論	1・2後	2	1	1			オムニバス	
	Environmental Engineering	1・2後	2		1				
	Advanced Bioorganic chemistry	1・2後	2		2			オムニバス	
離散システム論	1・2後	2		1		1	担当教員助教新規採用のため(28)		

数理システム工学コース	自然の数理論	1・2前	2	1	1			担当教員教授昇任のため(28)
	環境シミュレーション特論	1・2後	2	1	1			ムニバス
	リスクマネジメント	1・2前	2	1				
	非線形モデリング論	1・2後	2		1			
	音声情報処理論	1・2前	2		1		1	担当教員退職のため(28) ムニバス
	数値計算アルゴリズム論	1・2後	2		1		1	担当教員准教授昇任のため(27)
	線形代数学続論	1・2前	2		1			
	数学解析	1・2前	2	1	1			担当教員教授昇任のため(28)
	応用解析	1・2後	2	1				
	最適化理論	1・2後	2	1				英語対応科目
事業開発マネジメントコース	プロジェクトマネジメント	1・2後	2	1				兼1
	知財戦略論	1・2後	2					
	ビジネスコミュニケーション	1・2前	2	1	1			兼1 担当教員の見直しのため(28)
	リスクマネジメント論Ⅰ	1・2前	2	1				
	リスクマネジメント論Ⅱ	1・2後 1・2前	2	2	1			カリキュラム編成調整のため(27) ムニバス
	SHIEN(支援)学入門	1・2前 1・2後	2	1				教育効果の向上を目的に開講期を変更(27)
	マネジメント特論Ⅰ	1・2後	2	8	2 3			担当教員の見直しのため(28) ムニバス、英語対応科目
	マネジメント特論Ⅱ	1・2前 1・2後	2	1				兼7 担当教員の見直しのため(28) 教育効果の向上を目的に開講期を変更(27)
	マネジメント特論Ⅲ	1・2通	2	8	2 3			担当教員の見直しのため(28) ムニバス
	社会調査及び多変量解析入門	1・2後	2	1	1			兼1 担当教員の見直しのため(28)
	シミュレーション及び演習	1・2後	2	1				英語対応科目
	アントレプレナーシップ	1・2後	2	1				
	科学コミュニケーション	1・2後	2	1				
	経営のためのインテリジェンスづくり	1・2後	2	1				
	地域イノベーション	1・2前	2	1				
先端技術レビュー	1・2前	2		1				
オペレーションズ・リサーチ	1・2前 1・2後	2	1				教育効果の向上を目的に開講期を変更(27)	
コース共通	Advanced Mathematics for Engineers	1・2前	2		1			
	Advanced Physics for Engineers	1・2前	2	2	3			ムニバス
	Advanced Chemistry for Engineers	1・2後	2	2	2			ムニバス

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、

「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）

- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 211	科目 0	科目 211	科目 0	科目 211	科目 0	科目 211	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学 術 雑 誌		視 聴 覚 資 料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電 子 ジ ャ ー ナ ル [うち外国書]				点
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千 円	千 円	図 書 購 入 費	千 円	千 円	千 円
	共 同 研 究 費 等	千 円	千 円	設 備 購 入 費	千 円	千 円	千 円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員 定 員	編入学 員 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部		450	3年次 5	1,870		1.01			平成24年度入学生より、人文学部から人文社会科学部へ学部名称変更
社会学科	4	70	—	295	学士 (社会学又は学術)	1.03	昭和57年度	静岡市駿河区大谷836	
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学又は学術)	1.05	平成4年度	〃	
法学科	4	90	3年次 2	364	学士 (法学又は学術)	1.05	昭和53年度	〃	
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次 3	126	学士 (法学)	0.94	平成8年度	〃	
経済学科	4	155	—	665	学士 (経済学又は学術)	1.02	昭和53年度	〃	
経済学科(夜間主コース)	4	30	—	120	学士 (経済学)	0.82	平成8年度	〃	
教育学部		300		1,500		1.01			
学校教育教員養成課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.01	平成10年度	静岡市駿河区大谷836	
生涯教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	
総合科学教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より 学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より 学生募集停止
情報学部		245		845		1.03			
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.06	平成8年度	浜松市中区城北3-5-1	
行動情報学科	4	70	—	70	〃	1.05	平成28年度	〃	

情報社会学科	4	75	—	375	学士 (情報学又は 学術)	1.01	平成8年度	—	—
理学部		240		885		1.01			
数学科	4	38	—	143	学士 (理学)	1.04	昭和40年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学科	4	48	—	183	学士 (理学又は学 術)	1.01	—	—	
化学科	4	52	—	187	—	1.01	—	—	
生物科学科	4	52	—	187	—	1.01	平成18年度	—	
地球科学科	4	50	—	185	—	1.02	—	—	
工学部		550		2,155		1.03			
機械工学科	4	168	—	663	学士 (工学又は学 術)	1.03	平成7年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学科	4	110	—	425	学士 (工学)	1.04	—	—	
電子物質科学科	4	110	—	440	—	1.02	平成25年度	—	
化学バイオ工学科	4	112	—	427	学士 (工学又は学 術)	1.02	—	—	
数理システム工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.02	—	—	
物質工学科	4	—	—	—	—	—	平成7年度	—	平成25年度より 学生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成25年度より 学生募集停止
農学部		185	3年次 10	655		1.04			
生物資源科学科	4	115	3年次 7	115	学士 (農学又は学 術)	0.98	平成28年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生命科学科	4	70	3年次 3	70	学士 (農学)	1.07	—	—	

共生バイオサイエンス学科	4	—	—	—	—	—	平成18年度	—	平成28年度より 学生募集停止
応用生物化学科	4	—	—	—	—	—	平成元年度	—	平成28年度より 学生募集停止
環境森林科学科	4	—	—	—	—	—	平成18年度	—	平成28年度より 学生募集停止
大学院人文社会科学研究科		36		72		0.98			
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間 科学)	0.95	平成15年度	静岡市駿河区大谷836	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	1.05	平成9年度	—	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.96	平成17年度	—	
大学院教育学研究科		76		156					
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.83	平成21年度	静岡市駿河区大谷836	
共同教科開発学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.25	平成24年度	—	
教育実践高度化専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.15	平成21年度	—	
大学院総合科学技術研究科		479		958		1.15			
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	1.00	平成27年度	浜松市中区城北3-5-1	
理学専攻	2	70	—	140	修士 (理学)	1.10	—	静岡市駿河区大谷836	
工学専攻	2	262	—	524	修士 (工学)	1.33	—	浜松市中区城北3-5-1	
農学専攻	2	87	—	174	修士 (農学)	0.78	—	静岡市駿河区大谷836	

大学院情報学研究科										
情報学専攻	2	—	—	—	修士 (情報学)	—	平成12年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
大学院理学研究科										
物理学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
化学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
地球科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院工学研究科										
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
電気電子工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
電子物質科学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成25年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
化学バイオ工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
数理システム工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
事業開発マネジメント専攻	2	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院農学研究科										
共生バイオサイエンス専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	平成20年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
環境森林科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院自然科学系教育部		50		150		0.92				

ナノビジョン工学専攻	3	13	—	39	博士 (学術又は工学)	0.66	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
光・ナノ物質機能専攻	3	12	—	36	博士 (学術、理学 又は工学)	0.80	〃	〃	
情報科学専攻	3	10	—	30	博士 (学術、情報 学、理学又 は工学)	1.10	〃	〃	
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21	博士 (学術、理学 又は工学)	1.28	〃	静岡市駿河区大谷836	
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24	博士 (学術、理 学、工学又 は農学)	0.95	〃	〃	
大学院法務研究科									
法務専攻	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成17年度	静岡市駿河区大谷836	平成28年度より 学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
78	74	5	22	179	84	78	6	22	190	84	78	6	22	190
(78)	(76)	(4)	(19)	(177)						[6]	[4]	[1]	[0]	[11]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
176	3	0			189	1	0			190	0	0		
(176)	(1)	(0)								[14]	[Δ3]	[0]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合科学技術研究科 工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況, 方法等

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28 年 6 月 30 日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 静岡大学

(2) 大学名

静岡大学

(3) 大学の位置

〒432-8561

静岡県浜松市中区城北3丁目5番1号

(大学院総合科学技術研究科情報学専攻及び工学専攻)

〒422-8529

静岡県静岡市駿河区大谷836番地

(大学院総合科学技術研究科理学専攻及び農学専攻)

[〒422-8529
静岡県静岡市駿河区大谷836番地]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合科学技術研究科 農学専攻(修士課程) 修士(農学)	2 年	87 人	174 人	基礎となる学部等 農学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成27年度	平成28年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	87 (-) [-]	87 (-) [-]	87 (-) [-]	87 (-) [-]	0.78倍	
志願者数	63 (3) [1]	17 (-) [17]	93 (1) [2]	() []		
受験者数	59 (3) [1]	16 (-) [16]	92 (1) [2]	() []		
合格者数	54 (3) [1]	14 (-) [14]	85 (1) [2]	() []		
B 入学者数	51 (3) [1]	10 (-) [10]	76 (1) [2]	() []		
入学定員超過率 B/A	0.7		0.87			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 51	[-] (-) -	[2] (-) 76	[10] (-) 10	
2年次	/		[1] (-) 46	[-] (-) -	
計	[1] (-) 51		[3] (-) 132		

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	61 人	5 人	平成27年度	5 人	0 人	進路変更のため(5人)	8.2 %
			平成28年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	76 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	137 人	5 人					3.6 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合科学技術研究科 農学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	MOTベンチャー戦略論 I	1・2前		2								兼2 オムバース
	MOTベンチャー戦略論 II	1・2後		2								兼2 オムバース
	現代経営論	1・2後		2								兼2 共同
	知的財産論	1・2後		2								兼1
	希少資源戦略論	1・2前		2								兼2 担当教員の見直しのため(27) 兼3 オムバース, 共同(一部)
	先端機器分析科学 I	1・2前		2		1	4					兼9 オムバース
	先端機器分析科学 II	1・2後		2		6 5	1					兼9 より専門性を深めるため教員を追加(28) オムバース
	フロンティア科学特論 I	1・2前		1								兼6 オムバース, 集中
	フロンティア科学特論 II	1・2後		1								兼6 オムバース, 集中
	科学技術者倫理	1前		2		3 4	1		1			兼6 授業の実施体制の見直しのため(28) 担当教員准教授昇任のため(27) オムバース
	現代科学の最前線 I	1・2前		1								兼6 オムバース
	現代科学の最前線 II	1・2後		1								兼6 オムバース
	科学コミュニケーション演習 I	1・2前		1								兼6 オムバース, 集中
	科学コミュニケーション演習 II	1・2後		1								兼6 オムバース, 集中
	環境科学特論	1後		2								兼1 英語対応科目
	科学技術政策特論	1・2前		2								兼1
	マーケティング論	1・2前		2								兼3 兼1 担当教員の見直しのため(27)
	情報システム論	未開講 1・2前		2								兼1 履修希望者がいないため未開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27)
	情報セキュリティマネジメント論	1・2後		2								兼1
	応用数学概論	1・2前		2								兼1
	応用数学特論	1・2前		2								兼1
	量子工学特論	1・2前		2								兼1
	工学基礎化学特論 I	1・2前		2								兼1
	工学基礎化学特論 II	1・2後		2								兼1
	応用生命科学概論	1・2前		2								兼1
	応用プログラミング	1・2前		2								兼2 授業理解及び演習補助のため兼担教員を追加(27) 兼1 集中
	システム・ネットワーク論	1・2前		2								兼4 オムバース

研究科共通科目	コミュニケーション論	1・2後	2				兼6 オムバス, 英語対応科目
	情報資源総論	1・2後	2				兼3 オムバス, 英語対応科目
	情報社会セキュリティ論	1・2後	2				兼3 オムバス
	先端フィールド科学特別演習	1・2前	1	3	1		共同, 集中
	統合オミックス特論 I	1・2前	2	1			兼1 非常勤講師の所属先の都合により担当が難しくなったため人数変更(27) 兼3 オムバス
	統合オミックス特論 II	1・2後	2				兼3 オムバス
	分子構造解析特論	1・2前	2				兼5 オムバス, 集中
	分子構造解析演習	1・2前	1				兼6 オムバス, 集中
	ゲノム機能解析演習	1・2後	1	1			兼2 オムバス, 集中
	災害情報学特論	1・2前	2	1			
	津波工学特論	1・2後	2				兼1
	リスクマネジメント概論	1・2後	2				兼1 集中
	地震災害論	1・2前	1				兼1 集中
	火山災害論	1・2後	1				兼1 集中
	環境解析学	2後	1				兼2 集中
	環境生態系学	1前	2				兼1 集中
	生物地球化学	2前	2				兼2 集中
	環境倫理学	2後	1				兼1 集中
	環境システム工学	1後	1				兼3 集中
	生物多様性保全学	1後	1				兼1 授業の実施体制の見直しのため(27) 兼2 集中
	Science and Technology in Japan	1・2前	2				兼1
	Shizuoka Enterprises in South and Southeast Asia	1・2後	2				兼1
	Professional Presentations in English	1・2前	1				兼1
	English Thesis Writing	1・2後	1				兼1
	大学院キャリアデザイン	1・2前	1	2	1		兼11 オムバス, 集中
	大学院インターンシップ	1・2前・後	1				兼1 集中
	海外大学交流研修	1・2前・後	2				兼3 集中
	創造科学技術入門セミナー I	1・2前	1				兼7 オムバス
	創造科学技術入門セミナー II	1・2前	1	1			兼6 オムバス
	博士キャリアデザイン	1・2後	1				兼5 集中
	創造科学技術インターンシップ演習	2前・後	1				兼1
	創造科学技術先端機器分析演習 I	2後	1				兼1
	創造科学技術先端機器分析演習 II	2後	1				兼1

コース必修科目	共生バイオサイエンス特別研究	1~2通		12	12	13 42	2	教育体制を充実させるため担当専任教員を追加したため及び担当専任教員の昇任のため(27) 英語対応科目
	応用生物化学特別研究	1~2通		12	11 40	8 7	4 5 4	担当教員准教授昇任のため(28) 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加(27) 英語対応科目
	環境森林科学特別研究	1~2通		12	7	7 6 5	4 5 4	担当教員准教授昇任のため(28) 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加(27) 英語対応科目
	農業ビジネス特別研究	1~2通		12	5	6	1	
コース共通	農学特別演習Ⅰ	1・2通	2		29	27 25 24	7 9 10	担当教員准教授昇任のため(28) 担当教員准教授昇任のため(27) 英語対応科目
	農学特別演習Ⅱ	1・2通 未開講 1・2通	1		29	27 25 24	7 9 10	担当教員准教授昇任のため(28) 通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 担当教員准教授昇任のため(27) 英語対応科目
	生命環境思想	1・2前	2		1			兼1 授業理解を深めるため兼任教員を追加(28) 英語対応科目
	果樹園芸学特論	1・2前	1			1		
	花卉園芸学特論	1・2前	1				1	
	野菜園芸学特論	1・2後	1		1	1		兼3 非常勤講師の所属先の都合により担当できなくなったため(27) オムバス
	収穫後生理学特論	1・2後	1		1	1		オムバス
	果樹機能開発学特論	1・2前 未開講 1・2前	1			1		通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27)
	果樹園芸学演習	1・2後	2			1		英語対応科目
	花卉園芸学演習	1・2後	2				1	英語対応科目
	野菜園芸学演習	1・2前	2			1		英語対応科目
	収穫後生理学演習	1・2前	2		1			英語対応科目
	青果保蔵学演習	1・2前	2			1		英語対応科目
	果樹機能開発学演習	1・2前	2			1		英語対応科目
	害虫防除学特論	1・2前	1		1			
	応用昆虫学特論	1・2前	1			1		
	植物病理学特論	1・2後	1			1		
	植物病原細菌学特論	1・2前	1		1			
	植物分子遺伝学特論	1・2後	1		1			
	ゲノミクス遺伝学特論	1・2後	1		1			
	農業生態学特論	1・2後	1		1			
バイオインフォマティクス特論	1・2前	1			1			
害虫防除学演習	未開講 1・2前	2		1	1		履修希望者がいないため未開講(28) 共同、英語対応科目	
植物病理学演習	1・2前 未開講 1・2前	2			1		通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 英語対応科目	
植物病原細菌学演習	1・2後	2		1			英語対応科目	

共生バイオサイエンスコース	植物分子遺伝学演習	1・2前	2	1			英語対応科目
	遺伝子工学演習	1・2前 未開講 1・2前	2	1			通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 英語対応科目
	農業生態学演習	未開講 1・2前	2	1			履修希望者がいないため未開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 英語対応科目
	バイオインフォマティクス演習	1・2前	2		1		英語対応科目
	環境社会学特論	1・2後	1		1	+	担当教員准教授昇任のため(27)
	持続可能型農業科学特論	1・2後	1		1		
	生態学特論	1・2後	1	1			
	環境微生物学特論	未開講 1・2後	1	1	1		履修希望者がいないため未開講(28) 共同
	保全生物学特論	1・2後	1	1			
	土壌微生物学演習	未開講 1・2後	2	1	1		履修希望者がいないため未開講(28) 共同, 英語対応科目
	持続可能型農業科学演習	1・2前 未開講 1・2前	2		1		通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 英語対応科目
	生態学演習	1・2前	2	2			共同, 英語対応科目
	環境微生物学演習	未開講 1・2後	2	1	1		履修希望者がいないため未開講(28) 共同, 英語対応科目
	環境社会学演習	未開講 1・2前	2		1	+	履修希望者がいないため未開講(28) 担当教員准教授昇任のため(27) 英語対応科目
	農業経営経済学特論	1・2前	1		1		
	環境情報学特論	1・2後	1		1		
	生態影響評価学特論	1・2前 未開講 1・2前	1	1			通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27)
	住環境科学特論	1・2後	1		1		
	農業経営経済学演習	1・2前 未開講 1・2前	2		1		通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 英語対応科目
	生命環境思想演習	1・2後	2	1			英語対応科目
	バイオマス環境学演習	1・2前 未開講 1・2前	2	1	1		通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 共同, 英語対応科目
環境情報学演習	1・2前	2		1		英語対応科目	
共生バイオサイエンス特別講義	1・2前	1	12	3		オムバス	
静岡学連携特別講義	1・2後	1		1		兼2	
Advanced Plant Production I	1・2後	2	1	1	1	オムバス	
Advanced Plant Production II	1・2前 未開講 1・2前	2	2	2		通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) オムバス	
Advanced Environmental Conservation	1・2後	2	3	2		オムバス	
Advanced Plant Protection	1・2後	2	2	1		オムバス	
Advanced Agricultural Society and Science	1・2前	1		3 2	+	担当教員准教授昇任のため(27) オムバス	
天然物有機化学特論	1・2前	1		1 1		オムバス, 集中	

コース 選択科目	応用 生物 化学 コース	天然物有機化学演習 I	1・2前	2	1	1			共同, 英語対応科目
		天然物有機化学演習 II	1・2前 未開講 1・2前	2	1	1			通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 共同, 英語対応科目
		生物化学特論	1・2前	1	2	1	1		オムバス, 集中
		生物化学演習 I	1・2通 未開講 1・2通	2	2	1	1		通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 共同, 英語対応科目
		生物化学演習 II	1・2通	2	2	1	1		共同, 英語対応科目
		食品栄養化学特論	1・2前	1	1		1		オムバス, 集中
		食品栄養化学演習 I	1・2前	2	1		1		共同, 英語対応科目
		食品栄養化学演習 II	1・2前 未開講 1・2前	2	1		1		通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 共同, 英語対応科目
		動物生理学特論	1・2前	1	1	1			オムバス, 集中
		動物生理学演習 I	1・2通	2	1	1			共同, 英語対応科目
		動物生理学演習 II	1・2通 未開講 1・2通	2	1	1			通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 共同, 英語対応科目
		細胞生物学特論	1・2後	1	1	2			オムバス, 集中
		細胞生物学演習 I	1・2通	2	1	2			オムバス, 英語対応科目
		細胞生物学演習 II	1・2通 未開講 1・2通	2	1	2			通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) オムバス, 英語対応科目
		応用微生物学特論	1・2前	1		2	1		担当教員准教授に昇任のため(28) オムバス, 集中
		応用微生物学演習 I	1・2前	2		2	1		担当教員准教授に昇任のため(28) 英語対応科目
		応用微生物学演習 II	1・2前 未開講 1・2前	2		2	1		通常開講(28) 担当教員准教授に昇任のため(28) 履修希望者がいないため未開講(27) 英語対応科目
		生物学特論	1・2前	1	1	1			オムバス, 集中
		生物学演習 I	1・2後	2	1	1			共同, 英語対応科目
		生物学演習 II	1・2後	2	1	1			共同, 英語対応科目
		植物機能生理学特論	1・2後	1	3		1		オムバス, 集中
		植物機能生理学演習 I	1・2後	2	3		1		共同, 英語対応科目
		植物機能生理学演習 II	未開講 1・2後	2	3		1		履修希望者がいないため未開講(28) 共同, 英語対応科目
		農学特別演習 III	1・2後	2	10	8	3	4	担当教員准教授に昇任のため(28) オムバス, 集中
		応用生物化学特別講義 I	1・2前	1					兼1 集中
		応用生物化学特別講義 II	1・2前	1					兼1 集中
		生物産業特論	1・2通	1	1				
		Advanced Biotechnology and Bioengineering	1・2後	2	1	1			オムバス
		Advanced Organic Chemistry of Natural Products	1・2前 未開講 1・2前	2	1	1			通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) オムバス
		Advanced Biological Chemistry	1・2前 未開講 1・2前	2	1	1			通常開講(28) 履修希望者がいないため未開講(27) オムバス

	Advanced Chemistry for Biorefinery	1・2前 未開講 1-2前	2		1	1				通常開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) オムバス
	Advanced Food and Nutritional Chemistry	1-2後	2		1			1		オムバス
	Advanced Biomaterial Pross	1-2前 未開講 1-2前	2						兼1	通常開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27)
環境森林科学コース	環境森林科学概論	1-2前	2		7	6 5		3 4		担当教員准教授昇任のため (28) オムバス, 共同 (一部), 英語対応科目
	Advanced Forest Ecology	1-2前	2		1					
	造林学特論	1-2後	2		1	1				オムバス
	砂防工学特論	1-2前	2			1				
	山地水文学特論	1-2前	2		1					
	林業工学特論	1-2前	2			1				
	森林生態学演習	1-2前	2			1				英語対応科目
	砂防工学演習	1-2後	2			1				英語対応科目
	森林生態管理学演習	1-2前	1		1	1				オムバス, 集中
	改良木材学特論 I	未開講 1-2前	2		1			1		履修希望者がいないため未開講 (28) オムバス
	木質構造学特論	1・2前 未開講 1-2前	2		1	1		1		担当教員准教授昇任のため (28) 通常開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) オムバス
	改良木材学特論 II	1・2前 未開講 1-2前	2			1				通常開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27)
	木質生化学特論	1-2後	2		1			1		オムバス
	高分子複合材料学特論	1-2後	2		1					
	改良木材学演習 I	1・2前 未開講 1-2前	2		1	1		1		通常開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) 共同, 英語対応科目
	住環境構造学演習 I	1・2前 未開講 1-2前	2		1	1		1		担当教員准教授昇任のため (28) 通常開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) 共同, 英語対応科目
	改良木材学演習 II	未開講 1-2前	2		1	1		1		履修希望者がいないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) 共同, 英語対応科目
木質生化学演習 I	1・2前 未開講 1-2前	2		1			1		通常開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) 共同, 英語対応科目	
木質生化学演習 II	1・2前 未開講 1-2前	2		1			1		通常開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) 共同, 英語対応科目	
高分子複合材料学演習 I	1・2前 未開講 1-2前	2		1			1		通常開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) 共同, 英語対応科目	
高分子複合材料学演習 II	未開講 1-2前	2		1			1		履修希望者がいないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) 共同, 英語対応科目	
住環境構造学演習 II	未開講 1-2前	2		1	1		1		担当教員准教授昇任のため (28) 履修希望者がいないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) 共同, 英語対応科目	
Chemistry and Biochemistry of Wood Components	1-2後	2		1			1			共同

	Environmental Remote Sensing	1・2後 未開講 1+2後	2		1					通常開講予定 (28) 履修希望者がいなかったため (27)
	Field Lecture in Temperate Forest Ecosystems around Mt. Fuji	1・2前 未開講 1-2前	2		1	1				通常開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (27) 共同、英語対応科目
農業 ビジネス 起業人 育成 コース	先進的農業ビジネス経営論	1・2前	1		1					兼3 より実践的な内容を教授できる講師を追加 (28) 兼2 オムバス
	農産物流通・マーケティング論	1・2後	1							兼3 オムバス
	経営管理技術特論	1・2前	1			1				兼3 講師の所属先の都合により担当できなくなったため (28) 兼5 オムバス
	農業政策・知的財産戦略特論	1・2後	1							兼5 オムバス
	栽培技術特論	1・2前	1		1	1				兼4 オムバス
	植物環境調節学特論	1・2後	1		1	1				兼2 オムバス
	植物工場論	1・2前	1		1					兼1 オムバス
	植物保護学特論	1・2前	1			2				兼2 より実践的な内容を教授できる非常勤講師を追加したため (27) 兼1 オムバス
	先端生産管理技術特論	1・2前	1							兼4 オムバス
	資源活用論	1・2後	1							兼3 より実践的な内容を教授できる非常勤講師を追加したため (27) 兼2 オムバス
	品質管理論	1・2後	1							兼2 非常勤講師の所属先の都合により担当できなくなったため (27) 兼3 オムバス
	ビジネスプランニング演習	1・2前	1			1	2			兼1 実務家による実践的な演習内容としたため (28)
	農業ビジネス総合演習	1・2前	1		1		3	2		兼2 教育体制を充実させるため担当専任教員を追加 (28) オムバス
	財務管理演習	1・2後	1							兼1
園芸作物生理学演習	1・2後	1				1			兼2 オムバス	
施設環境制御学演習	1・2前	1							兼3 より実践的な内容を教授できる講師を追加したため (28) 兼2 オムバス	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	193	0	193	0	193	0	193	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学 術 雑 誌		視 聴 覚 資 料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電 子 ジ ャ ー ナ ル				
		[]	[]	[]	点	点	点	
		([])	([])	([])	()	()	()	
	計	[]	[]	[]				
		([])	([])	([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
		m ²						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千 円	千 円	図 書 購 入 費	千 円	千 円	千 円
	共 同 研 究 費 等	千 円	千 円	設 備 購 入 費	千 円	千 円	千 円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
人文社会科学部	年	人	年次人	人		倍			
		450	3年次5	1,870		1.01			
社会学科	4	70	—	295	学士 (社会学又は学術)	1.03	昭和57年度	静岡市駿河区大谷836	平成24年度入学生より、人文学部から人文社会科学部へ学部名称変更
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学又は学術)	1.05	平成4年度	〃	
法学科	4	90	3年次2	364	学士 (法学又は学術)	1.05	昭和53年度	〃	
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次3	126	学士 (法学)	0.94	平成8年度	〃	
経済学科	4	155	—	665	学士 (経済学又は学術)	1.02	昭和53年度	〃	
経済学科(夜間主コース)	4	30	—	120	学士 (経済学)	0.82	平成8年度	〃	
教育学部		300		1,500		1.01			
学校教育教員養成課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.01	平成10年度	静岡市駿河区大谷836	
生涯教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
総合科学教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
情報学部		245		845		1.03			
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.06	平成8年度	浜松市中区城北3-5-1	
行動情報学科	4	70	—	70	〃	1.05	平成28年度	〃	

情報社会学科	4	75	—	375	学士 (情報学又は 学術)	1.01	平成8年度	—	—
理学部		240		885		1.01			
数学科	4	38	—	143	学士 (理学)	1.04	昭和40年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学科	4	48	—	183	学士 (理学又は学 術)	1.01	—	—	
化学科	4	52	—	187	—	1.01	—	—	
生物科学科	4	52	—	187	—	1.01	平成18年度	—	
地球科学科	4	50	—	185	—	1.02	—	—	
工学部		550		2,155		1.03			
機械工学科	4	168	—	663	学士 (工学又は学 術)	1.03	平成7年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学科	4	110	—	425	学士 (工学)	1.04	—	—	
電子物質科学科	4	110	—	440	—	1.02	平成25年度	—	
化学バイオ工学科	4	112	—	427	学士 (工学又は学 術)	1.02	—	—	
数理システム工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.02	—	—	
物質工学科	4	—	—	—	—	—	平成7年度	—	平成25年度より 学生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成25年度より 学生募集停止
農学部		185	3年次 10	655		1.04			
生物資源科学科	4	115	3年次 7	115	学士 (農学又は学 術)	0.98	平成28年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生命科学科	4	70	3年次 3	70	学士 (農学)	1.07	—	—	

共生バイオサイエンス学科	4	—	—	—	—	—	平成18年度	—	平成28年度より 学生募集停止
応用生物化学科	4	—	—	—	—	—	平成元年度	—	平成28年度より 学生募集停止
環境森林科学科	4	—	—	—	—	—	平成18年度	—	平成28年度より 学生募集停止
大学院人文社会科学研究科		36		72		0.98			
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間 科学)	0.95	平成15年度	静岡市駿河区大谷836	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	1.05	平成9年度	—	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.96	平成17年度	—	
大学院教育学研究科		76		156					
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.83	平成21年度	静岡市駿河区大谷836	
共同教科開発学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.25	平成24年度	—	
教育実践高度化専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.15	平成21年度	—	
大学院総合科学技術研究科		479		958		1.15			
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	1.00	平成27年度	浜松市中区城北3-5-1	
理学専攻	2	70	—	140	修士 (理学)	1.10	—	静岡市駿河区大谷836	
工学専攻	2	262	—	524	修士 (工学)	1.33	—	浜松市中区城北3-5-1	
農学専攻	2	87	—	174	修士 (農学)	0.78	—	静岡市駿河区大谷836	

大学院情報学研究科										
情報学専攻	2	—	—	—	修士 (情報学)	—	平成12年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
大学院理学研究科										
物理学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
化学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
地球科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院工学研究科										
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
電気電子工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
電子物質科学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成25年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
化学バイオ工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
数理システム工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
事業開発マネジメント専攻	2	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院農学研究科										
共生バイオサイエンス専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	平成20年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
環境森林科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院自然科学系教育部		50		150		0.92				

ナノビジョン工学専攻	3	13	—	39	博士 (学術又は工学)	0.66	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
光・ナノ物質機能専攻	3	12	—	36	博士 (学術、理学 又は工学)	0.80	〃	〃	
情報科学専攻	3	10	—	30	博士 (学術、情報 学、理学又 は工学)	1.10	〃	〃	
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21	博士 (学術、理学 又は工学)	1.28	〃	静岡市駿河区大谷836	
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24	博士 (学術、理 学、工学又 は農学)	0.95	〃	〃	
大学院法務研究科									
法務専攻	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成17年度	静岡市駿河区大谷836	平成28年度より 学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
30	24	0	10	64	30	28	0	12	70	30	28	0	12	70
(29)	(26)	(0)	(12)	(67)						[0]	[4]	[0]	[2]	[6]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
63	1	0			70	1	0			70	1	0		
(67)	(1)	(0)								[7]	[1]	[0]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合科学技術研究科 農学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28 年 6 月 30 日)